

元号が令和に変わり4年目を迎えた。収束を迎えたように思われた新型コロナウイルス感染症は、新しい変異株「オミクロン株」として拡大している。終わりの見えない新型コロナウイルス感染症との闘いに、今後のガイド活動や日常生活に不安が募る。だからと悲観していても仕方がない。「今だからできること・やれること」をやり、将来のために積み重ねていくしかない。

さて、上里にあるノンノの森は、白銀の世界へ姿を変えている。キラキラと輝く雪の結晶は、まるで夜空に輝く星のよう。幾千もの結晶の道を歩くために必要なスノーシュー（西洋かんじき）。これを装着すると、結晶の道の上を埋まらない

で歩くことができる。軽い体で沈まないエゾリスやネズミには必要のない道具だ。エゾキツネやエゾクロテンは沈まないように冬毛が足裏でかんじきの役割を果たしている。残念ながらエゾシカにはそれが無い。エゾシカは重いためよく沈み、お腹を擦って歩いた跡をよく見る。実際に深い雪の中を歩いてみると、どれだけ大変かよくわかる。1メートル進むだけでTシャツになりたいたいほど発汗し、疲れる。野生動物はそんなハードな道のりを文句も言わず歩いている。生きていくために。

野生動物に見習い、私も一歩一歩前進していこうと思う。家ですでに2才の娘が無邪気に走っている。

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

第94回 自然と子から学ぶ

吉井晴紀

協力隊3年目。ノンノの森ネイチャーセンターで自然ガイドとして活動。娘と妻と生活。



コロナ禍での学習環境の充実に 商工会青年部から教育委員会へ物品を寄贈

1月13日、津別町商工会青年部から教育委員会に二酸化炭素測定器やリモート学習用機材などの寄贈がありました。商工会青年部を代表して、部長の濱端紀行さんから宮管教育長へ手渡しました。

教育長は「ありがとうございます。コロナ禍での授業の充実に活用させていただきます」とお礼を述べました。寄贈された物品は小中学校へ贈られます。



津別町暴力追放推進協議会が受賞 令和3年度暴力追放功労団体および功労者表彰

令和3年12月22日、津別町暴力追放推進協議会が「令和3年度警察庁長官・全国暴力追放推進センター会長連名表彰」を、同協議会会長の中川孝敏さん(旭町)が「令和3年度道警本部長・北海道暴力追放センター会長連名表彰」を受賞し、その伝達式が美幌警察署で行われました。今年度、団体表彰を受けたのは、全国で12団体で、道内では唯一津別が受賞しました。

津別町の 林業最前線！

現在インターネットで公開中！町のHPをご覧ください

今回は津別町で林業を営む有限会社北野産業の世代交代取材しました。29歳の若さで社長を継いだ菊池さんが思う林業の魅力とは？津別の森を見続けて60年以上の北野会長が思う林業とは？さらに今後始まる「木質バイオマスセンター」の最新情報もお届けします。変化を続ける津別町林業の今をご紹介します！



2022年1月号

受け継がれる思い

#58 津別町の林業最前線！

YOUTUBEはこちら

この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日ごろ更新

《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 ☎ 77-8374



安心して遊べるように つべつ木材工芸館キノス抗菌施工(無光触媒)を実施

1月11日から13日の3日間、新型コロナウイルス感染症対策として、つべつ木材工芸館キノスの抗菌施工(無光触媒)を行いました。それに伴い、2階遊具広場と一部おもちゃを開放しました。

また、引き続き消毒作業も行っていますので、安心してご利用ください(2階休憩スペース・2階トイレは使用できません)。なお、遊具広場の利用時間は、当面の間、正午から午後4時までとなっています。ご理解とご協力をお願いします。

※無光触媒とは、光を全く必要とせず、暗所においても空気に反応して抗菌・消臭・防汚などの効果を発揮する方法のため、夜間やくもり、雨の中等でも効果を維持することができます。また、子どもの口に触れても問題がない安全なものとなっています。

